LOVE SPORTS
Athlete Interview
vol. 43

続けること、諦めないこと



アグレミーナ浜松
鷲北（わしきた） 一輝（かずき） 選手



▶ 中央区在住　▶ 1992 年生まれ
▶ 背番号：5　▶ 利き足：右
▶ ポジション：フィールドプレーヤー
アグレミーナ浜松 12 年目のシーズン。「チーム唯一の 30 代ですが、積極的に動き、声掛けし、チームを引っ張ります」

浜松市を拠点に活動するプロフットサルチーム、アグレミーナ浜松。今回は、鷲北一輝選手にお話を伺いました。

―最初はサッカーでした

幼稚園の時にサッカーを始めました。所属チームでは、ドリブルやリフティングを毎日毎日繰り返し、個人技を磨く練習がほとんどでした。例えば、シュートをせずにドリブルでゴールまで入っていくような…。小学3年生になる頃には、気付けばリフティングが3000回もできるようになっていました。

個人技ばかりの練習は面白くなく、何度も「休みたい」と思っていた小学4年生の時です。試合に出ると、ドリブルで相手選手をどんどん抜いていくことができたのです。その感動で、サッカーが大好きになりました。その後の人生を決めた瞬間だったのかもしれません。

―フットサルを始めたきっかけは

高校のサッカー部でレギュラーになれませんでしたが、私の個人技を褒める友人が「フットサルに向いている」と言ってくれたので、大学はフットサル部がある学校を選びました。

在学中、プロフットサルチーム「名古屋オーシャンズ」の下部組織のセレクションに、母の後押しもあり受験し合格したことが、本格的にフットサルを始めたきっかけです。

―フットサルの魅力を教えてください

攻守の展開が早いことです。フットサルコートの面積はサッカーのおよそ8分の1。その中を、選手は試合中ずっと動きまわっています。見逃さないでくださいね。

―ここを見てほしい！プレーは

一つ目は、利き足に関係なくボールコントロールできることです。幼少からの「個人技」を磨く練習のおかげだと、今はとても感謝しています。

二つ目は、ボールを持たない時の動きです。「予測した守備」で、相手の攻撃を未然に防ぎます。

―ベストコンディションを保つために心がけていることは何ですか

体重や体脂肪率など、自分の体の状態を毎日数値化しています。食事も毎食カロリー計測しています。

オンとオフを切り替え、休日はちゃんとリフレッシュすることも大事ですね。

―うまくいかなかったとき、どのような気持ちが必要ですか

周りのせいにせず、自分に矢印を向け「今、できることはないか」をいつも探しています。それでも見つからない時は、人に聞くことです。

諦めないで続けていけば、きっと、「やった！できた！」と感じる時が来ます。その成功体験が、自分をさらに成長させます。

―夢をかなえるために大切なことは何だと思いますか

私は、フットサルの選手として〝遅咲き〟でしたが、自分を信じてやり続けてきたことを誇りに思います。続けた努力は、その人の人生で大きなプラスになります。それは、夢がかなっても、かなわなくても…です。

―こんなことも聞きました

Q 応援する時の呼び名は～
「かずにゃん」と呼んでください。

Q 好きな食べ物は～
餃子です。毎日でも食べたい！

Q 日々のこだわりは～
テレビのリモコンは使ったら必ず定位置に戻します。几帳面（きちょうめん）なんです。

Q 内緒の特技～
そろばん1級です。道行く自動車のナンバーを見ると、反射的に足し算してしまいます。



アグレミーナ浜松

日本フットサルリーグ 2026-27
ディビジョン 2

12月5日(土)
17:00 KICK OFF
VS マルバ水戸 FC

会場 浜松アリーナ

チケット情報などの詳細はこちら⇨
アグレミーナ浜松公式 HP

浜松市公式 note でも「LOVE SPORTS」を読むことができます。